

e 防災マップをつくるために、マップに情報を登録する地図ツールの使い方（項目の追加削除・設定、情報登録・修正、携帯電話による情報登録）を説明します。

### 3. マップへ情報を登録する方法

これからはグループページを活用して、集めた情報をにマップへ情報を登録する地図ツールの使い方を説明します。

#### （1）マップを準備する

ステップ1の2（1）にある「マップを準備する」を参考にマップを準備します。マップタイトルは、ステップ3で決めたタイトルにします。目的を明確に決めずにマップを作成している場合は、任意の名称でタイトルを設定します。

#### （2）項目を準備する

ステップ3で決めた項目を準備したマップに登録します。

- （ア） 表示されたマップ画面の左にある凡例一覧の上に「登録情報」の下に「項目追加」というボタンをクリックします。
- （イ） クリックすると出てくるリストのうち、「項目新規作成」をクリックします。
- （ウ） 次のウィンドウで項目の名前を入力します。また、可能であれば説明文も入力します。
- （エ） マップ上での形状を決めます。点と線と面のいずれかを選択します。地点などを示す場合は点、ルートや道などは線、領域やエリアの場合は面を選びます。
- （オ） 「項目を新規作成」をクリックします。
- （カ） すると、登録情報の一覧に、作成した項目が追加されます。  
※これ以降は、必ずしも行う作業ではありません。
- （キ） 項目名称の右の水色のボタンをクリックします。
- （ク） 「項目の説明」をクリックします。
- （ケ） 項目の名称や説明文が確認できます。また、「編集」をクリックすると名称や説明文を修正もできます。

この（ア）から（カ）の流れは、項目の数だけ行います。

## 項目追加の方法

(ア) 項目追加をクリック。

(イ) 「項目新規作成」をクリック。

(ウ) 項目の名前(必須)、説明文などを入力。

(エ) マップ上の形状を点、線、面のうちどれで表現するのか選択(必須)。

(オ) 「項目を新規作成」をクリック。

(カ) 「登録情報」に項目が追加される。

(キ) をクリック。

(ク) 項目の説明をクリック。

項目の名前と説明は後で編集できる。

(ケ) 項目の説明が確認できる。編集による修正が可能。

項目には、それぞれの位置情報のほかに、住所や名称などの付随する情報(属性情報と呼びます)を登録することができます。項目ごとに、どのような属性情報を登録するのか、設定をすることができます。

- (ア) 属性を追加したい項目の水色のボタンをクリックします。
- (イ) 「属性一覧」をクリックします。
- (ウ) 画面中央に新たなウィンドウが表示されて、属性の一覧が確認できます。
- (エ) 「属性追加」をクリックします。

- (オ) 新たに追加する属性の名称を入力します。(その下の「データの種別」では、文字列や数値型などが選択できます。)
- (カ) 名称を入力後、「属性を追加」をクリックします。
- (キ) 属性の追加が完了です。「閉じる」をクリックするとウィンドウが閉じられます。

次に情報を登録する際には、追加した属性名称が登録できるようになっています。

### 項目の属性の設定方法

(ア) 設定したい項目の **属性一覧** をクリック。

(イ) 「属性一覧」をクリック。

(ウ) 属性の一覧が確認できる。

(エ) 属性追加をクリック

(オ) 属性の名称を入力。例えば住所とか。

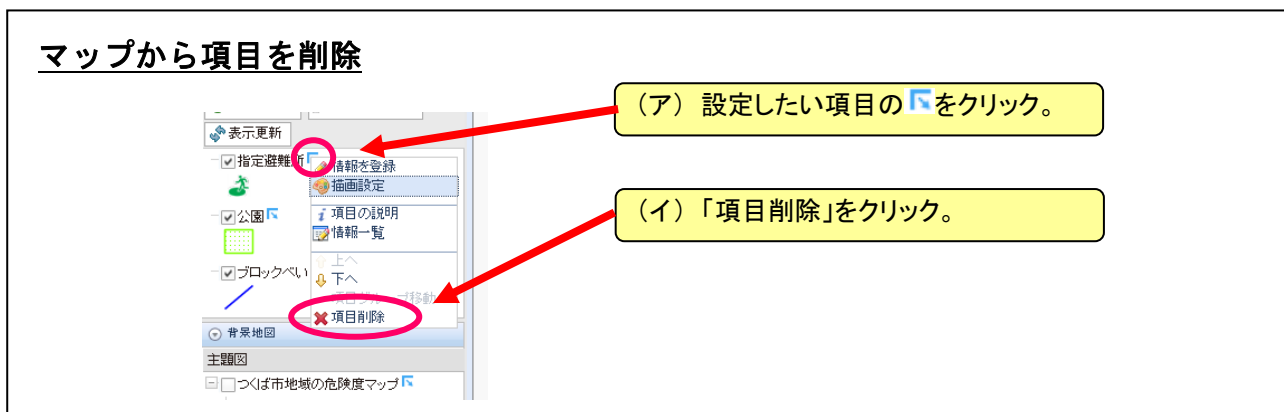
(カ) 「属性を追加」をクリック

(キ) 属性の追加が完了。「設定」で変更も可能。

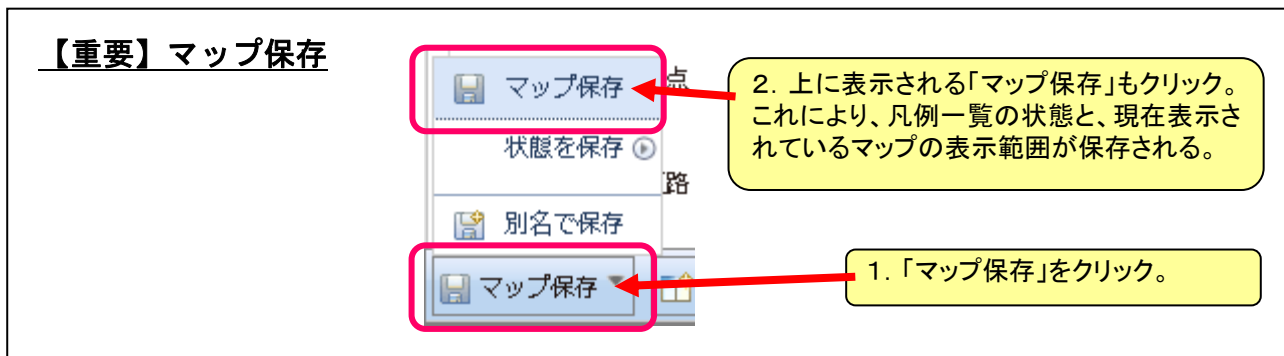
属性名	データ型	文字数	入力条件	設定
名称	文字列	20	空欄可	設定
住所	文字列	20	空欄可	設定

逆に項目を削除する場合の方法を説明します。

- (ア) マップ画面の凡例一覧の上部にある「登録情報」に先ほど追加した項目があるので、項目の名前の右側の水色のマークをクリックします。
- (イ) クリックすると出てくるリストのうち、「項目削除」をクリックします。



また、項目の追加と削除が完了した際は、必ずマップ保存を行ってください。マップ画面左下にあります。

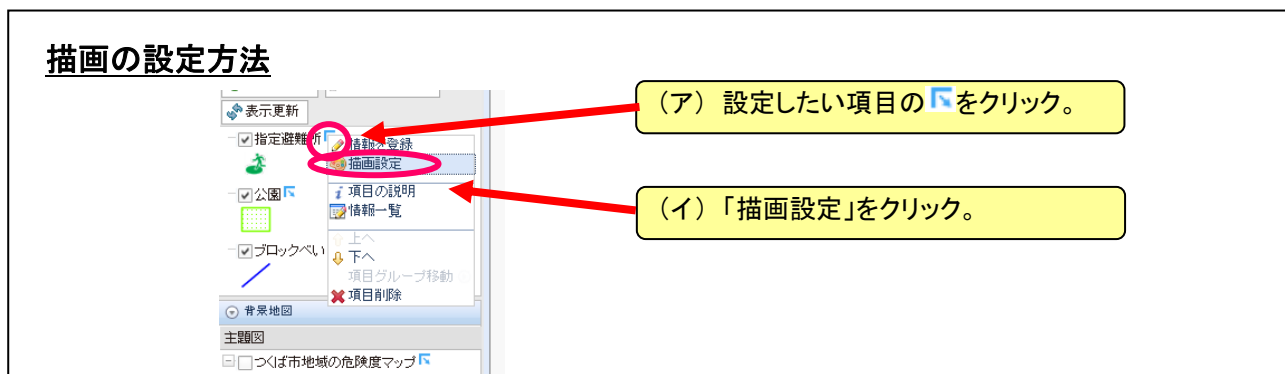


なお、マップから項目が削除されても、データ自体は削除されていません。グループページにある e 防災マップの下にある「作成済み項目一覧」をクリックすると、項目の一覧が表示されます。そこで削除をクリックすると、データが完全に削除されます。

### (3) 項目の描画を設定する

項目の描画を設定します。点であればアイコンのデザイン、線であれば色や太さ、面であれば塗りつぶしのパターンや辺の色や太さが設定できます。以下に描画の設定方法の流れを説明します。

- (ア) マップ画面の凡例一覧の上部にある「登録情報」に先ほど追加した項目があるので、項目の名前の右側の水色のマークをクリックします。
- (イ) クリックすると出てくるリストのうち、「描画設定」をクリックします。



はじめに、点描画の設定方法の流れを以下に説明します。上記で描画設定の画面が表示されてからの操作方法です。

- (ア) 「アイコン」をクリックし、点（アイコン）の設定画面を表示させます。
- (イ) 「アイコン」をクリックした下は、アイコンが種類別に格納されています。一般アイコンは多目的に利用可能なアイコン、防災アイコンは防災に関するアイコン、グループアイコンもあり、そこにも防災に関するアイコンがあります。
- (ウ) 変更したいデザインのアイコンをクリックします。クリックする前にアイコンの上にマウスを移動し、説明の文章が表示される場合があります。
- (エ) アイコンのサイズを変更できます。20 が平均的でちょうど良いサイズです。
- (オ) 「項目」をクリックします。

※応用として、独自にアイコンを作成した場合のアップロード方法を説明します。

- (カ) 「グループアイコン」をクリックします。
- (キ) 「アイコンアップロード」をクリックすることで画像ファイルが選択できます。
- (ク) アイコンサイズも任意のサイズに設定でき、最後に「更新」をクリックします。

※応用として、マップに登録する情報の文字列（ラベル）を表示できます。

- (ケ) 「ラベル」をクリックします。
- (コ) 「対象属性名称」を「名称」を選択します。
- (サ) ラベルの文字サイズなど、詳細が設定できます。
- (シ) 「更新」をクリックします。

## 点の描画の設定方法

(ア) アイコンをクリック。

(ウ) アイコンを選んでクリック。

(オ) 更新クリック。

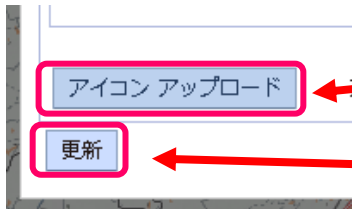


(イ) アイコンが分類ごとに整理されているので、該当する分類をクリック。

(エ) アイコンサイズを設定。初期設定の20は平均的でちょうど良いサイズ。必要なければそのまま。

## 独自アイコンのアップロード方法 (応用)

(カ) アイコンが分類ごとに整理されているところで、「グループアイコン」をクリック。

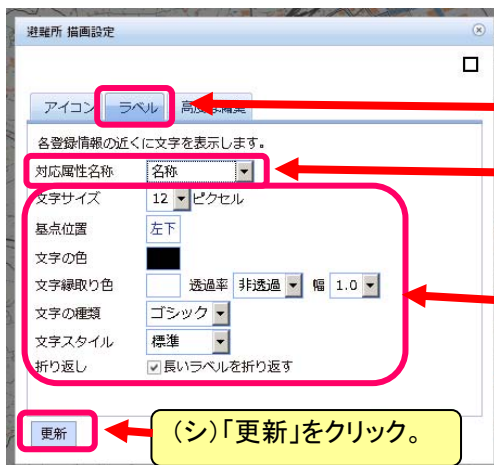


(キ) ファイルアップロードをクリックし、独自に作ったアイコン画像を選択。

(ク) アイコンサイズに変更が必要な場合は変更して更新をクリック。

## 名前のラベルを付ける方法 (応用)

※ 各点に名称を入力した場合に、マップの点ごとにラベルが表示される方法です。



(ケ) 「ラベル」をクリック。

(コ) 「対象属性名称」に名称を選択。

(サ) ラベルの詳細設定ができます。必要に応じて設定します。

(シ) 「更新」をクリック。

次に、線描画の設定方法の流れを以下に説明します。上記で描画設定の画面が表示されてからの操作方法です。

- (ア) 「線」をクリックし、線描画の設定画面を表示させます。
- (イ) 「線の色」で色が選べます。■をクリックして、色を選択します。
- (ウ) 「線幅」は線の太さを設定できます。2.0 から 4.0 がくらいの数値が良いでしょう。
- (エ) 「線の形状」は、線種が設定できます。実線や点線などが選べます。
- (オ) 「更新」をクリックします。

### 線の描画の設定方法

(ア) 「線」をクリック。

(イ) 線の色を設定。■をクリックすると色が選択可能に。

(ウ) 線の幅を設定。2.0 から 4.0 くらいがおすすめ。

(エ) 線の形状(タイプ)が設定できる。

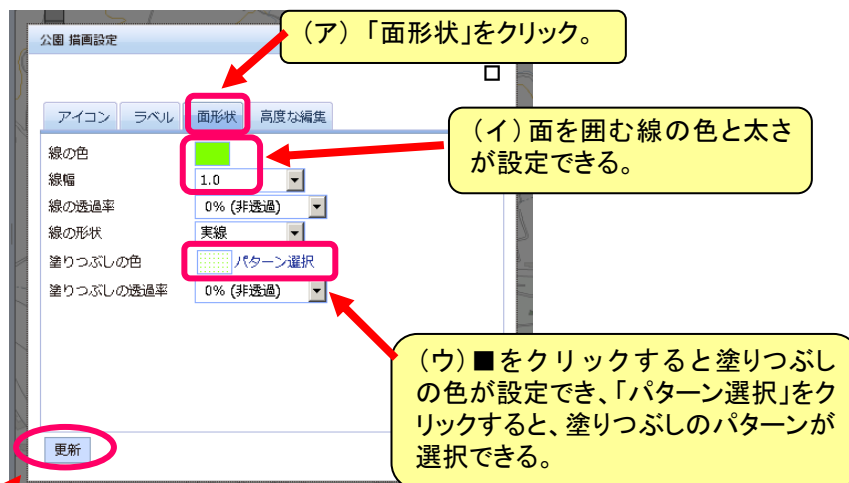
(オ) 更新をクリック

※ 点の描画の設定方法にあるラベルを付ける方法の設定ができ、線の上に名前を表示することができます。

次に、面描画の設定方法の流れを以下に説明します。上記で描画設定の画面が表示されてからの操作方法です。

- (ア) 「面形状」をクリックし、面の描画の設定画面を表示させます。
- (イ) 「線の色」は面を囲む色の設定ができます。その下の線幅は、その線の太さが設定できます。2.0 から 4.0 がくらいの数値が良いでしょう。
- (ウ) 「塗りつぶしの色」では、面の塗りつぶされる色の設定ができます。■をクリックすると選択できます。その右の「パターン選択」をクリックすると、塗りつぶしの模様を選択できます。
- (エ) 「更新」をクリックします。

## 面の描画の設定方法





## (4) 項目に情報を登録する

項目の追加と描画設定が完了したら、情報の登録に移ります。以下、その方法を説明します。まず、情報登録の開始するための流れは以下のとおりとなります。

- (ア) 情報を登録したい項目の水色のボタンをクリックします。
- (イ) 表示されるメニューのうち、「情報を登録」をクリックします。

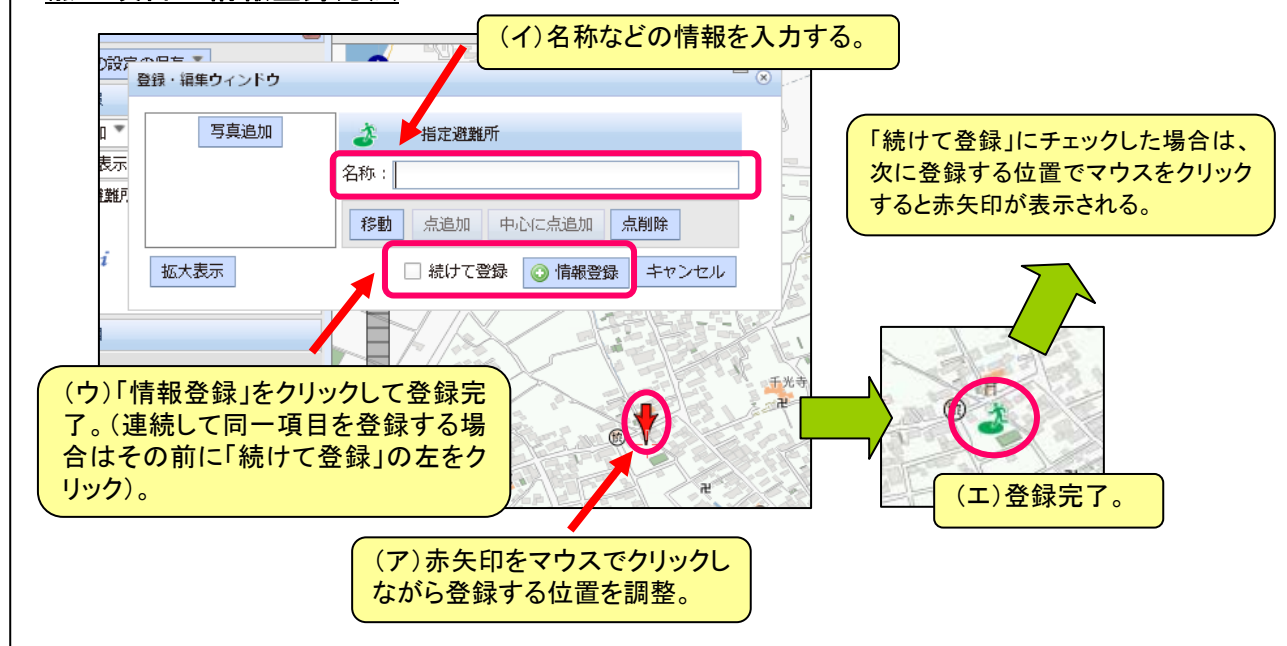
この流れは、点・線・面とも共通です。



点のタイプの項目の情報登録の流れを説明します。

- (ア) マップ画面に右上に「登録・編集ウィンドウ」が表示されています。それと同時にマップの中心に赤矢印が表示されます。赤矢印をクリックしながら移動すると、登録地点を設定できます。
- (イ) 「登録・編集ウィンドウ」の名称に、名前などを必要に応じて入力します。
- (ウ) 「情報登録」をクリックすると登録完了です。  
「続けて登録」をクリックすると、同一項目で連続して点を登録できます。  
マップ画面をクリックすると、赤矢印が表示されます。

## 点の項目の情報登録方法



次に、線または面のタイプの項目の情報登録の流れを説明します。

- (ア) マップ画面に右上に「登録・編集ウィンドウ」が表示されています。次に、形状となる頂点となる地点1点をクリックします。続いて頂点を順番に入力していき、線や面の形状をつくっていきます。
- (イ) 形状が出来上がる最後の頂点はダブルクリックします。または、図形の頂点がクリックできたら、「登録・編集ウィンドウ」にある「図形確定」をクリックします。
- (ウ) 「登録・編集ウィンドウ」の名称に、名前などを必要に応じて入力します。
- (エ) 図形が線の場合は青線で、頂点に赤矢印となっていますので、赤矢印をクリックしながら移動することで、形状を変更できます。頂点を追加する場合は、線の上の+をクリックして移動することで頂点が追加されます。面の場合は、青い面となります。頂点の移動による形状の変更や頂点の追加は、線と同じです。
- (オ) 「情報登録」をクリックすると、登録完了です。「続けて登録」をクリックすると、同一項目が連続して登録が可能です。

## 線または面の項目の情報登録方法

(ア) 図形の頂点をクリックすると、図形ができる。

(イ) 線や面の形状ができたら、最後の頂点でダブルクリックするか、登録・編集ウィンドウの「図形確定」をクリック。

(ウ) 名称などの情報を入力する。

(エ) 頂点の位置の微修正（赤矢印）や、新たな頂点（+）の追加が可能。

「続けて登録」にチェックした場合は、次に登録する位置でマウスをクリックすると赤矢印が表示される。

(オ) 「情報登録」をクリック。（同一項目で連続して登録する場合はその前に「続けて登録」の左をクリック）。

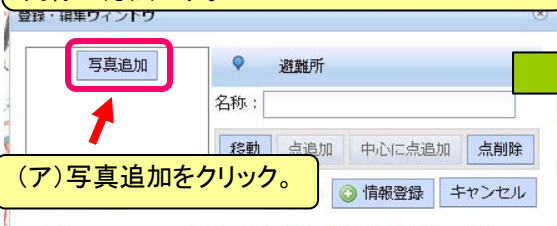
情報登録として、点、線、面などにデジカメで撮影した写真を登録する方法を説明します。まず、デジカメで撮影した写真データは、パソコンへ移動しておきましょう。なお、新規に情報登録を行う際も、吹き出し表示で情報を修正する場合も同様の方法です。

- (ア) 「登録・編集ウィンドウの」写真登録をクリックします。
- (イ) 「参照」をクリックして登録する画像ファイルを選び、「アップロード」をクリックします。
- (ウ) 「登録・編集ウィンドウの」に戻り、写真が追加されたのがわかります。写真を右クリックすることで、削除することも可能です。また、「写真追加」をクリックすると2枚以上も登録できます。
- (エ) 情報登録（または更新）をクリックすることで、写真の登録完了です。

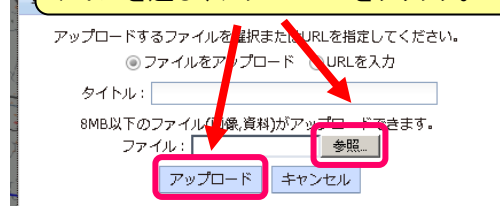
なお、写真だけでなくエクセルやPDFなどのほかのファイルもアップロード可能です。

## デジカメ写真の登録方法

新たに情報登録する場合も、修正する場合も同様の方法です。



(イ)「参照」をクリックして、写真の画像ファイルを選び、アップロードをクリック。



(ウ) 写真が追加されている。写真を右クリックすると「一覧から削除」で写真を削除できる。「写真追加」で2枚以上も「追加可能」。

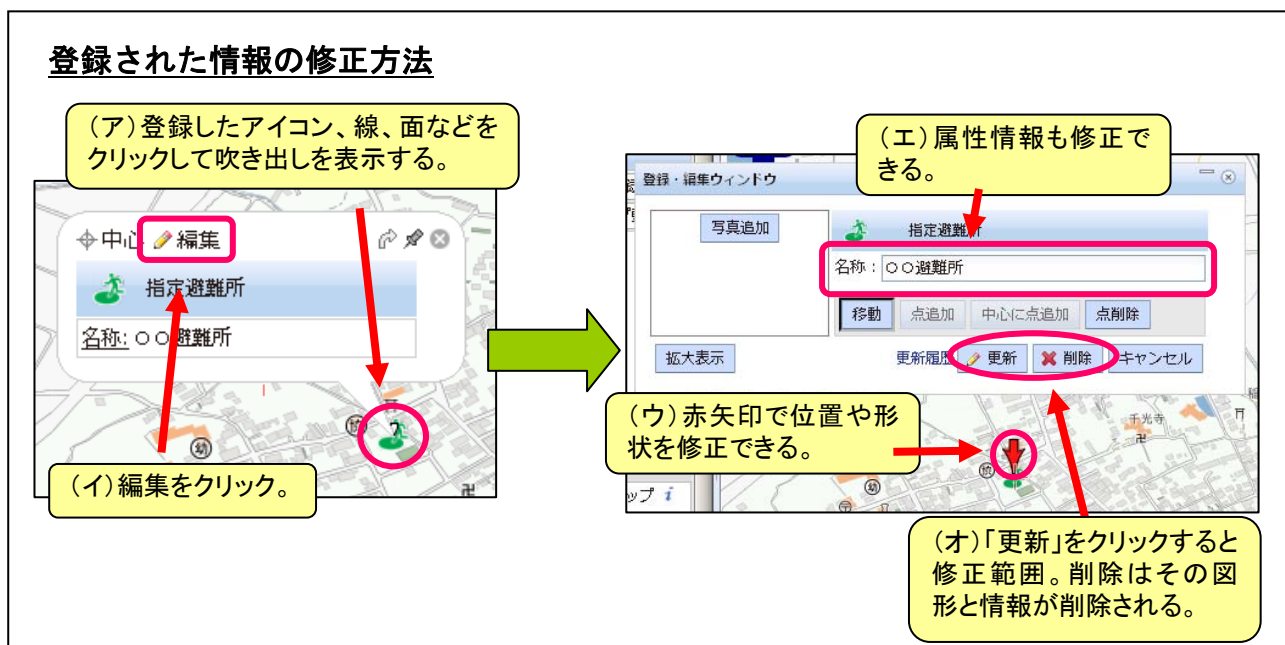


(エ)「情報登録」または「更新」をクリック。

## (5) 登録した情報の修正・削除

一度登録した情報は、属性情報や形状の修正や、削除が行えます。以下、その流れを説明します。

- (ア) 登録したアイコンや線または面をクリックします。
- (イ) 吹き出しが表示されるので、編集をクリックします。
- (ウ) 点の場合は、赤矢印のクリックによる移動で位置の修正ができます。線や面についても、赤矢印の移動で形状が変更できます。
- (エ) 名称などの属性情報も修正可能です。
- (オ) 「更新」をクリックすると、「登録・編集ウィンドウ」が消えて更新完了です。登録情報を削除したい場合は、「削除」をクリックすることで削除できます。



## (6) 2枚目以降のマップの作成

2枚目以降のマップの作成方法を説明します。基本的にはマップ新規作成により作成可能ですが、既に作成した項目を共有する形で利用可能です。

- (ア) ステップ1の2(1)の方法に従って、マップを準備します。
- (イ) 凡例一覧の上にある登録情報の下の「項目追加」をクリックし、「作成済み項目追加」をクリックします。
- (ウ) マップ画面中央に「作成済み項目一覧」が表示されます。必要な項目で「追加」をクリックすると、凡例一覧にその項目が追加されます。追加された項目は、情報登録や修正が可能であり、他のマップにもその情報が反映されます。  
最後に「マップを保存」を忘れないようにしましょう。

**マップを準備する方法**

(ア) グループページの「マップを作成」をクリックして、マップタイトルなど入力してマップを作成。

(イ) 「作成済み項目追加」をクリック。

(ウ) これまで作成した項目の一覧が表示されるので、「追加」をクリックすると、その項目が凡例一覧に追加される。

凡例	項目名	作成日時 / 形状	追加
	コミュニティ全体		
■	遊樂所	2010/11/06 13:18:32 POINT	追加
／	d r r	2010/11/06 13:55:18 LINESTRING	追加
凡例	項目名	作成日時 / 形状	追加

## (7) 携帯電話による情報の登録

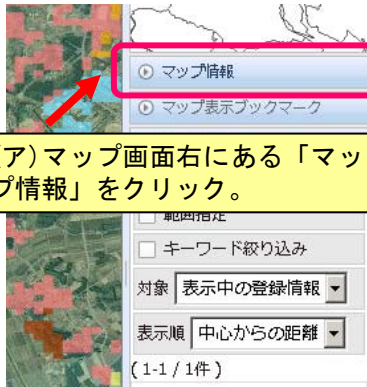
まち歩きで、GPS 付き携帯電話を使って情報を登録することが可能です。ただし、すでにマップに項目の追加および描画設定が完了していることが前提となります。

また、携帯電話のパケットを大量に使用しますので、パケット代が定額ではない場合はご注意ください。

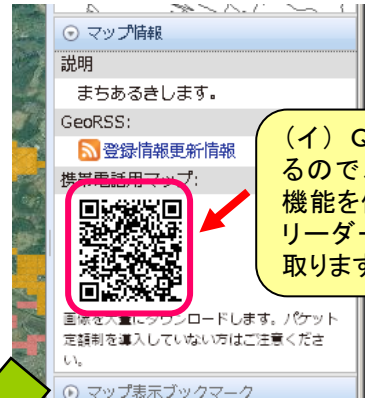
- (ア) マップ画面を表示し、右にあるマップ画面をクリックします。
- (イ) QR コードが表示されます。お持ちの携帯電話のカメラを起動し、バーコードを読み取るモードにし、バーコードを読み取ります。読み取りが終わったら、接続します。
- (ウ) 携帯電話の画面にマップが表示されます。
- (エ) 「(1)位置を確認する」を押します。
- (オ) GPS 機能によって携帯電話のある位置が特定され、携帯電話のマップ画面が携帯電話のある位置に移動します。
- (カ) 「(2)情報を登録する。」を押します。
- (キ) 登録する項目を選びその項目を押します。
- (ク) 属性情報として名称などを入力し、「送る」をクリックします。
- (ケ) 「(4)写真を撮って送る」を押します。するとメール画面が起動します。添付を選択し、カメラで写真を撮影します。そして、メール送信画面に戻り、メールを送信します。
- (コ) 画面が戻るのを、必ず「(5)マップに戻る」を押します。これでパソコンからも登録された情報を見ることができるようになります。



## 携帯電話による情報の登録方法



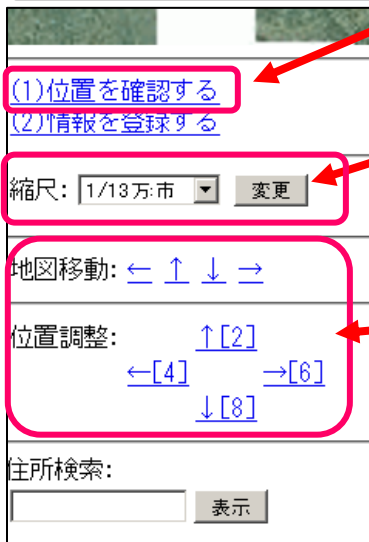
(ア) マップ画面右にある「マップ情報」をクリック。



(イ) QRコードが表示されるので、携帯電話のカメラ機能を使って、「バーコードリーダー」機能にして読み取ります。

### 携帯電話の画面

(ウ) アクセスすると、携帯電話画面にマップが表示される。

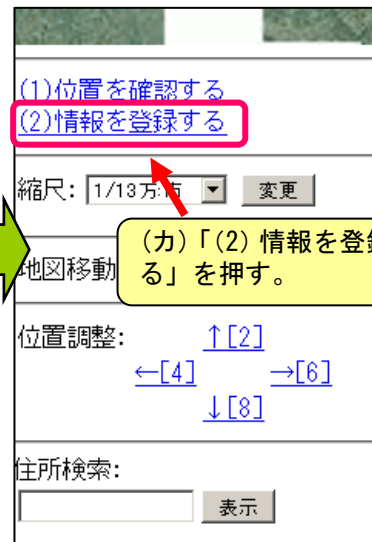


(エ) 「(1) 位置を確認する」を押す。

縮尺を選び、「変更」を押すと、マップの拡大縮小がいつでも可能。「1/xxx」のxxxの数字が小さいほど拡大。

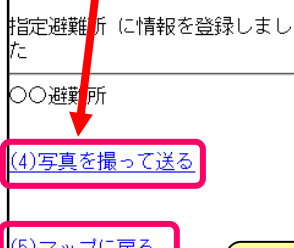
「地図移動」で表示エリアを大幅に移動。「位置調整」で少しだけ表示エリアを移動。いつでも移動可能。

(オ) 携帯電話のGPSが起動し、位置が特定されると、マップの画面が特定した位置が中心となるように切り替わる。



(カ) 「(2) 情報を登録する」を押す。

(ケ) 「(4) 写真を撮って送る」を押すと、携帯メールに切り替わるので、写真を撮影し、添付送信すると、マップに写真が登録される。



### 情報を登録

項目: 指定避難所  
名称

送る

(ク) 属性情報として名称などを入力して「送る」を押す。

(3)登録する項目を選ぶ  
指定避難所  
公園  
ブロックべい

(キ) 登録したい項目を選ぶ。

(コ) 画面が戻ったら、「(5) マップに戻る」を必ず押すこと。

(5)マップに戻る